

第18回地域包括ケア推進協議会(H30.9.27)における主な意見等

■前回の協議会での議論の振り返りについて■

- ・特になし

■各協議会の開催報告について■

(1) 第2回 福井市在宅医療・介護検討協議会

【意見】

- ・本人が亡くなった後の残った家族やスタッフの看取り後の満足度もひとつのアウトカムと考えて在宅ケアというのを考えていけばいい。それにはまずACPが大切で、ACPにつながる死に対する意識も重要になってくると考えている。

(2) 第2回 福井市認知症施策検討委員会

【意見】

- ・ケアパスは、認知症とは軽度、中度、高度と全然、病相が違っており、その対応も全く異なっているということを一般の方にも分かりやすく、認知症に詳しくない方でもわかりやすいようにということで作成したものなので、ケアパスをもっと活用して病相を理解し、認知症の方を支援していこうという意見があった。
- ・認知症検診の受診率を上げるためには、まずは民生委員さんや保健衛生推進委員さんの協力が大事である。その一方、認知症を地域で支えるという時に、短期的には、こうした検診を増やしていくということが大事なことだが、中長期的には、次世代、例えば、小学生、中学生や高校生といった成人にならない子供たちに認知症を理解していただくという形も大切。
- ・地区の集まりなどにも来ないようなどこにもなかなか引っかからない人に対して、認知症という病気があるんですよ、早期に対応すると問題が少なくなりますよ、ということをどのように伝えていくかが難しい問題。
- ・認知症検診を受診する環境をいかに整備していくことが大事。

■中核市移行に伴う条例の制定と一部改正について■

- ・特になし

■福井市社会福祉審議会の設置について■

【意見】

- ・地域福祉計画が上位計画、それぞれの福祉計画を横串を刺す横断的な計画となり、それぞれ並列する5つの分科会の連携が大事になってくる。

■地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について■

【意見】

- ・ 指標の達成において、中身の質をあげていくところが大事。

■中核市移行に伴う地域密着型サービス等の条例の一部改正について■

【意見】

- ・ 非常災害対策で、要援護者に対し、どのような事業所に協力してもらうことができるということを地区の防災マニュアルに記載できるといい。
- ・ 非常災害時に、地域住民もどこの事業所に行くのかわからないと困ると思うので、福祉避難所としてその地域の中にある福祉事業所にだいたい行けるというイメージを持っていただけた方がいいのかなと思う。
- ・ 福祉避難所については、通常の避難所では受け入れが難しい方の受け入れ先となるので、地元公開していただけるとありがたい。
→福祉避難所を現段階で各地区に公開することは、福祉避難所の受け入れ事情を考慮できなくなったり、市が避難者の受け入れへの関与がなくなってしまうので、現段階では難しいが、条例の避難者受け入れの努力義務条項を契機として、福祉避難所を増やしていく中で、併せて考えていきたい。
- ・ 防災には民生委員と自治会（自主防災組織）の連携が非常に重要だと考えており、自治会連合会には是非、新年会などの集まりに民生委員を呼んでいただけるような試みを全市的にしていただけるとありがたい。

■地域密着型サービス事業者等の指定等について■

- ・ 特になし

■その他■

【意見】

- ・ 高齢者向け住宅政策において、これから住宅部門と福祉部門で重なる部分が進んでいくと考えられるので、異なる分野の意見交換の場が大切になってくる。